

第 30 回理事会議事録

1. 日 時：2016 年 1 月 22 日（金）午後 6 時 30 分～9 時 50 分
2. 場 所：東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事 11 名】細田博之（7:30～8:15）、鳩山勝郎、大橋正幸（7:40 からスカイプで参加）、兼岩芳樹、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、高崎恵、寺本直志、橋本公二、山田和彦、吉田正
【欠席 1 名】 島村京子
【監事 2 名】 神代高弘、成田秀則
【事務局 3 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人事務局長代行補佐、鈴木正人競技会事業部長代行
【オブザーバー 1 名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 11 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 29 回理事会議事録案の承認について

内容を一部追加・修正し、議事録案を承認した。

第 2 号議案 平成 28(2016)年度予算案について

前回理事会に提出されたものと変更はない。3 月開催の次回理事会の前に業務執行会議を開催し、来年度事業計画書案及び予算案を提出すると鳩山会長代行から説明があった。

第 3 号議案 寄附金の処理について

前回理事会で鳩山会長代行より高松宮妃癌研究基金の 20 万円を残して他の寄付を取りやめる提案があり、寄付先についての検討を行った。
検討の結果、連盟競技会に密接な関係のある、高松宮妃癌研究基金へ 20 万円、朝日新聞厚生文化事業団へ 10 万円は今後も継続して寄付を行う事に決定した。
横浜音声訳グループやまびこへの 5 万円については来年度以降取りやめることを通知した上で今年度に限り寄付を行うことになった。

第 4 号議案 各委員会及び事業部報告について

1. 人事委員会

鳩山人事委員長より普及事業部長の公募に 2 名の応募があり、1 月 15 日に人事委員 3 名と清水普及事業部長による面接を行い、日本棋院で常務理事

として公益法人への移行に携わった高野英樹氏を採用する方向で検討しているとの説明があった。

高野氏は日本棋院に所属するプロ棋士で、タイトル戦に出場する場合は対局のある木曜日に年間 14 日程度休むことになる。就業規則には許可なく兼業をする事を認めていないが、鳩山委員長より、普及事業部長としては兼業を認め、今後事務局長になった場合は兼業を認めない方向で調整したいと発言があった。

山田理事より高野氏は現在大船ブリッジセンターでマネージャーを担当しており、対局がある場合は有休休暇及び特別休暇を使っていると説明があった。

吉田理事より、就業規則での兼業が問題になるが、日本棋院との今後の関係を考えると今回は許可して良いのではないかと発言があった。

今後人事委員会が採用を前提に条件を確認することになった。

2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より 1 月 13 日開催のセンター協議委員会について説明があった。

・「困った」プレイヤーに対する対応について

マナーや態度の悪いプレイヤーについては、現行の規則上で大幅な懲戒権をセンター側が持っている。しかし、サイクを頻繁に行うなどゲームを混乱させるプレイヤーについては、規則上では対応が難しい。頻繁なサイクについてはレコーダー制度を導入することである程度対応できる。加齢により遅刻したりプレイに時間がかかるプレイヤーについては統一的なガイドラインで対応できるか今後検討を行い、次回の協議委員会においてガイドラインの提示をしたい。

3. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より、第 15 回ワールドブリッジゲームズ日本代表選抜試合の申込状況について説明があった。

オープン (2 チーム)

寺本直志、小林泰、今井智士、中山尚純、三浦裕明、小池紀彰

陳大偉、古田一雄、加来浩、高山雅陽、田中陵華、横井大樹

ウィメン (3 チーム)

宮国亜矢子、島村京子、福吉由紀、佐藤牧子、柳澤彰子、大手瑠利

岩橋道子、小田由美子、島崎彩子、杉山靖子、椿旬子、折原尚子

三宅淳代、林真紀子、立花和子、萬木美緒、塩田淑子、坂田恵美

検討の結果、上記オープン 2 チーム、ウィメン 3 チームの代表選抜試合への招待を承認した。

また、シニアの申込が 1 チームのため、以下のメンバーをシニア日本代表

とすることを承認した。

森村俊介、平田眞、大橋正幸、今倉正史、山田彰彦、大野京子

(PC: 大橋正幸)

ワールドブリッジゲームズの公式戦として追加されたミクストチームについては2月末発行の会報において6人チーム、参加料チーム6万円で募集、3月中に締切、シニアに準じて4月30日、5月1日の2日間で代表選抜試合を行うこととし、本戦への参加料4,000ユーロを連盟が負担する以外は助成を行わないことに決定した。

細田会長より、2020年の東京オリンピックに合わせて知的オリンピックの開催をめざしており、JOCからは日本スケート連盟などの会長である橋本聖子氏が世話人になり話を進めようとしている。参加団体としてはペア碁、チェス、シャンチー、ドラフツとブリッジを予定している。また、文部科学省の前スポーツ局長の久保氏も加わる予定。今後話をまとめるために会議を開催する予定で、連盟もぜひ協力したいと発言があった。

4. 競技委員会

寺本競技委員長より第238回競技委員会の審議内容についての報告があった。

5. 普及事業部

清水普及事業部長より以下の説明および報告があった。

- ・今回も新入会キャンペーン、紹介キャンペーンを行う。
- ・東京大学授業の講師はゲラー理事が担当し、2017年退官のため今年度をもって終了する予定だったが、東京大学教授の浅井潔氏が後任講師を受諾し、継続が決定した。
- ・ジュニアクラブイベント開催状況について報告があった。
- ・SKYMARK機内誌に広告を掲載した。
- ・BSジャパンのサントリーDHAサプリメント通販番組内でブリッジの紹介映像の放映がある。
- ・APBFユースチームに以下のメンバーを選抜したと報告があり、検討の結果これを承認した。

ジュニア(U26)

瀬下拓未、原田裕己、小林皐輝、今給黎英嗣、田辺仁士、菊地忠裕

ヤングスター (U21)

園池実方、山本哲太郎、早下雅弘、平野元輝、後閑優里菜、及川直弥
両チームのNPCは寺本直志氏が努める。

今後世界ユースチーム選手権、世界大学選手権の代表を決定すると報告があった。

また、2016年3月からBBOで開催されるオンライン大学選手権に日本

から菊地忠裕、石橋瑞己、本田貴大、瀬下拓未、中西智昭、田辺仁士の6名が参加すると報告があった。

6. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況、年間最優秀プレイヤー、最優秀新人プレイヤー及び資格獲得者の報告があった。

ゲラー競技会担当理事より来年度の NEC ブリッジフェスティバルについて、国外からトップチームを招待すること、ディレクター、ブリテンについても従来どおり国外に依頼することとし、従来どおりの規模で開催したいと発言があり、これを承認した。

ブリッジメイトはβ版の提供があり、今後1ヶ月程度で正式に認証される見込みと報告があった。

7. 国際交流事業部

2017年 Yeh Bros 杯の開催について、椿山荘から見積書の提示があった。開催期間が NEC ブリッジフェスティバル最終日の1週間後からのスケジュールとなっているため、今後別の日程を交渉すると報告があった。

第5号議案 懲戒処分に対する署名入り文書への対応について

清水事務局長代行より、前回理事会で決定したとおり代表者に口頭で説明する旨連絡したところ、署名した全員に回答が正しく伝わるよう文書で連絡を求める返答があった。昨日追加の署名が提出され、現時点での署名者数は172名と報告があった。

山田理事より、代表者は文書での回答を望んでいるが、会報及び理事会議事録は公開されているため、新たな文書での回答は不要であり、口頭で説明する方が親切な対応であると発言があった。

署名人は5年間の出場停止の処分となった理由についての回答を求めているが、採択で決まったことである。5年間とした理由については議事録に書かれていないが、不正行為についての証拠がないことを考慮すると十分重い処分と考えられる。

代表者が口頭での説明を断った場合、回答しないでよいという意見があったが、宮内顧問弁護士より定款に連盟は情報公開に努めると記載しており、無視するべきではないと発言があった。

検討の結果、理事会議事録の該当部分を送付し、これ以上の内容については口頭で説明する用意があることを伝えることになった。

第6号議案 その他議案

1. 会員申込について

以下の3名の会友より提出された入会申請について審議を行い、入会を承

認した。

高橋弦志（会員番号 23261） 推薦者：大政哲人、神代高弘
伊藤直彦（会員番号 21739） 推薦者：鈴木正人、神代高弘
大木健次（会員番号 12441） 推薦者：鈴木正人、神代高弘

2. APBF 役員について

吉田理事より、昨年 5 月の APBF 代表者会議において中谷忠義氏が Honorary Secretary に選ばれたが、あくまで連盟の代表として選ばれるべきであり、中谷氏が理事を辞任した以上他の連盟の役員の中から選ぶべきであると発言があった。

今年 4 月の代表者会議は中谷氏が出席する予定であるが、吉田理事を国際交流担当理事に指名し、来年以降について中谷氏の意向を確認の上、Honorary Secretary 引継を行うかどうかを決めることに決定した。
次期理事会において後継者を選ぶこととした。

3. 元錦糸町ブリッジセンター代表堺順市氏の処分について

ゲラー理事より堺氏に対して懲戒処分を下すべきと発言があり、次回理事会において対応を検討することになった。

4. 次回の理事会開催について

次回理事会は 2016 年 3 月 25 日（金）午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類：第 4 号議案 「第 9 回センター協議委員会議事録」
「APBF コングレスユース代表承認のお願い、ユース報告」
「競技会事業部活動報告」
「Yeh Bros 杯開催見積（ホテル椿山荘東京）」
第 5 号議案 「会員懲戒処分に関する文書に対する対応について」
第 6 号議案 「公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟会員申込書」

平成 28 年 1 月 22 日（2016 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 30 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 神代 高弘

監 事 成田 秀則